

## 研究課題名

「調節麻痺薬使用に関する施設基準および副作用に関する調査」

(課題番号 1077)

## 疫学研究実施についてのお知らせ

国立成育医療研究センター感覚器・形態外科部眼科では、以下の疫学研究に参加しております。

平成28年1月4日

【研究課題名】 調節麻痺薬使用に関する施設基準および副作用に関する調査

【研究期間】 倫理審査委員会承認後から平成31年3月31日

### 【研究の意義・目的】

調節麻痺薬の使用に関する本研究は調節麻痺薬の使用の実態と副作用の発生率や症状が明確となり、EBMに基づく小児の弱視や斜視診療に役立つものです。将来的な小児の弱視や斜視診療のガイドラインの基礎的データとなり、医学的、社会的意義は大きく、アトロピン硫酸塩、シクロペントラート塩酸塩についての使用方法と副作用について調査します。

### 【研究の方法】

対象者は、日本弱視斜視学会の理事施設および本学会に専門申請のあった施設にいる学会会員（眼科医）です。

調節麻痺薬の使用に関する施設基準については、アンケート調査表の回答から使用する点眼濃度や点眼回数等に関して評価します。また副作用については、1年間の発生率や症状等について調査表の結果から検討します。

### 【研究機関名】

国立成育医療研究センター 眼科

日本弱視斜視学会多施設共同研究

近畿大学医学部附属病院 眼科

川崎医科大学 眼科

**【個人情報の保護について】**

今回の研究は個人情報を収集しません。

個人情報は守られ、患者さんの氏名、住所など、ご本人を特定できる一切の個人情報が公表されることはありません。

**【本研究に関する問い合わせ先】**

国立成育医療研究センター

感覚器・形態外科部眼科 仁科 幸子

〒157-8535

東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-5494-7120（内線 7087）